

調布市議団ニュース

2022年 春号



雨宮 幸男

487-8464



むとう千里

444-8206



岸本なお子

442-8751



坂内 淳

485-8944

●毎月第3月曜日は「法律相談日」ご予約下さい。

●メール jcp-choufu@nifty.com ●電話・FAX: 042-481-7280

市民アンケートへのご協力をお願いします

みなさんの声を市政に活かします

調布市議団のとりくみ

コロナからくらしと命をまもりぬくために

日本共産党調布市議団は、毎年、産業や福祉・医療など市内の団体や個人と懇談を行い、市内産業への支援やコロナ禍における妊産婦への支援、医療や介護の連携強化、子どもの貧困対策の充実などをとりまとめ、調布市に予算要望書を提出し続けています。

また、コロナ対策については、これまでに第9次緊急要望書を提出し、無料PCR検査の実施やワクチン接種の前倒し実施、保育園・学校への支援など、オミクロン株の感染急拡大への対策を市に求め続けてきました。



危険な外環道工事はストップを

2020年10月、外環道トンネル工事の直上の道路陥没・空洞発見は住民に不安と恐怖をあたえ、「地下40メートル以下を掘る大深度地下法だから安全」という神話は崩れました。

調布市議団は何度も現地調査を行い、地域住民の声を国土交通省や都議会・市議会に届け、『危険な工事はストップを』『住民の安全確保を急げ』と求めてきました。しかし事業者であるネクスコ東日本・国などの姿勢は、市民の不安解消には至っていないのが現状です。

また昨年には、外環道工事関連の情報公開請求した市民の個人情報がネクスコに漏洩していた問題まで発覚。その後も陥没事故直後に現場周辺の住宅の建築計画概要書を情報提供していたことがわかりました。

日本共産党は危険な工事をストップさせるとともに、情報公開と個人情報保護のあり方については、市が「地方自治の本旨や基本的人権を守る重要な制度」という自覚に立って、全容解明と業務の改善、再発防止を求めてきました。

今後も住民の声とともに求め続けていきます。

調布市議会初

令和4年度予算の編成替えを求める動議提出

長引くコロナ禍で、暮らしと営業、雇用が大きな影響を受けています。また、コロナ感染拡大で保育園や小中学校の休園・学級閉鎖などが相次ぎ、市の予算は重要な前進があるものの、こうした切実な状況に応えるものになっていない点もあることから、日本共産党は予算編成替えを提案しました。

増額予算として、①生活に困ったときに借りられる緊急援護資金貸付金の対象拡充。②保育・幼児施設や小中学校の子どもや高齢者・基礎疾患のある市民に抗原検査キットを配布。③就学援助制度の対象拡大と高校入学準備金の創設。

減額予算は、グリーンホールや総合福祉センターなど調布駅周辺の公共施設について、山積する課題の解決がされな



いま、事業を進めることは止めることなどです。

本会議最終日の採決では、共産党と生活者ネットワークは賛成、自民・公明・チャレンジ調布などが反対で否決となりました。

ひきつづき、調布市に対して建設的な提案をしていきます。

ミニバスの充実を

調布市コミュニティバスは西路線（飛田給～調布駅）、東路線（仙川～緑ヶ丘）、北路線（深大寺東町～佐須～調布駅）と3路線があります。しかし、大幅な減便が強行されるなどの問題がおきています。地域の声を届けて、西部地域では路線変更や減便をくい止め、北部地域では代替交通の実証実験が始まりました。地域住民の大事なミニバスの改善、充実を進めていきます。



日本共産党調布市議団をご紹介します！



雨宮 幸男 市議8期

建設委員会副委員長、中心市街地基盤整備等特別委員会、調布飛行場等対策特別委員会、都市計画審議会所属。党市議団幹事長、議会運営委員会委員歴任。

議会屈指の論戦力と市民との共同で、市民が主役の市政実現の先頭にたってきました。一貫して市の財政分析にとりくみ、市財政の健全性維持に尽力。京王線の地下化に伴う中心市街地のまちづくりでは、大型開発に偏らないよう、市民のみなさんと力を合わせています。

調布市の街づくりは新しい局面を迎え、調布駅前広場やグリーンホール建替え、総合福祉センター移転など問題は山積みです。

コロナ禍のもとで先行きの見通しが立たない今日、さらなる安全・安心の市政への発展めざして、ひきつづき市民のみなさんと力を合わせてがんばります。



むとう千里 市議7期

厚生委員会、中心市街地特別委員会委員、ふじみ衛生組合議会 所属
厚生委員会委員長など歴任。
元認可保育園保育士。夫と高校生、中学生の息子と4人暮らし

問題と思ったことはとことん調べ、現場の声を大事に行動してきました。

どの子どものびのびと育ち、誰もが生き生きと暮らせる社会、子どもの成長や保護者の仕事を応援したいと、保育園や幼稚園、学童クラブや児童館の充実のため奮闘しています。小中学校の少人数学級実現、教師の増員で1人ひとりの子どもにあったきめ細かな教育を実現させるまであきらめません。

北部地域で削減されたミニバスに代わる便利な公共交通の実現をさせるため、暮らしや地域の課題を議会できりあげてきました。

困ったことがあったら、解決のために一緒にがんばります。



岸本なお子 市議5期

日本共産党幹事長。
文教委員会、広域交通問題等特別委員会、議会運営委員会所属。
厚生委員長、文教委員会副委員長など歴任。2013年都議選に挑戦。美容師

3人の子育て経験を活かし、これまで、中学校給食実現、学童クラブ・保育園の増設に尽力。

自らの経験や市民からの相談を機に、特養老人ホームなど介護施設の増設、介護事業の充実、歯周病健診拡充や、带状疱疹ワクチンへの助成実施などを求め、安心して住み続けられる調布市実現のため力を尽くしてきました。

2020年10月、外環道トンネル工事による道路の陥没事故が発生、住民の不安を取り除くため、現場を調査し、住民の声を市議会に届け「危険な工事ストップ」「住民への対応改善を」求め続けてきました。さらに2021年に判明した情報漏洩、情報提供問題は、一人ひとりの権利を守るために、今後も改善を求めています。



坂内 淳 市議1期

総務委員会、広域交通問題等特別委員会、国民健康保険運営協議会、議会報告会実行委員会 所属

市役所の半数を占める非正規職員の処遇改善、コロナ禍での施設休業にともなう外郭団体のパート職員、フリーランスの指導員への休業補償など、当事者の声を聞き、改善を迫ってきました。格差と貧困が広がる中、市民の国保税の均等割減免・傷病手当支給、生活保護制度の周知、収入減となった学生への支援充実などを求め続けています。また、台風19号の教訓から「避難情報の発信の時期、建築物の水害による停電対策、電気設備の浸水防止対策」「災害復旧作業従事者のアスベスト被曝対策」を提案しました。

命とくらし守る市政へ、みなさんの声をおよせください。



山添 拓 参議院議員

市議団のみなさんと力合わせて

ロシアによるウクライナ侵略が、戦後の国際秩序を根底から脅かしています。住民への無差別攻撃、病院や原発への攻撃など、信じがたい暴挙が続いています。国際社会の圧倒的な世論でプーチン政権を包囲し、侵略をやめさせましょう。

私はこれまで、調布市議団のみなさんと外環道工事による陥没事故、空洞発見で不安をかかえる被害住民のみなさんの声を聞き、現地を調べ、国会でも取りあげてきました。

ひきつづき、命を守る政治実現のため、力を合わせてがんばります。(調布市在住)